

人見絹枝が追い抜けなかったドイツの金メダリスト リーナ・ラトケ

片岡 律子

アムステルダム第9回オリンピック大会（1928年7月28日～8月12日）は陸上競技において女性が初めて出場することが認められた大会である。日本は女性1人を含め総勢43人の選手団を派遣し、陸上競技において男女ともに初めてメダルを獲得した。男性は織田幹雄が三段跳で金メダルを、女性は人見絹枝が800メートル競走で銀メダルを獲得した。本稿では、この800メートル競走において金メダルを獲得したドイツの選手リーナ・ラトケの生涯を概観し考察する。

リーナ・ラトケは1903年10月18日にドイツのカールスルーエで生まれる。1927年、800メートル競走で世界記録を樹立する。ゲオルク・ラトケと結婚し夫の指導のもと1928年再度800メートル競走で世界記録を出し、アムステルダム第9回オリンピック大会への出場資格を獲得する。リーナが人見絹枝を抑え優勝し、出した世界記録は16年間破られることはなかった。ドイツの敗戦後、リーナは難民として追放されザクセンアンハルトにたどり着く。1967年、夫婦は東ドイツを出国し、リーナの生誕地カールスルーエへ移った。1973年、市はスポーツへの特別な貢献を讃えリーナに金メダルを贈った。1983年2月14日、リーナはその生涯を終えた。彼女は、ナチスドイツの狂気に巻き込まれることもなく、金メダリストの栄光を振り回すこともなく、一市民として人生を生き抜いたのである。

キーワード：アムステルダム第9回オリンピック大会、女子800メートル競走、リーナ・ラトケ、人見絹枝

I. はじめに

1928年8月2日は、世界の女子陸上競技および日本の陸上競技の歴史において、まことに記念すべき日となった。

アムステルダム第9回国際オリンピック大会（1928年7月28日～8月12日）は、陸上競技において女性が初めて出場することが認められた大会である。日本は女性1人を含め総勢43人の選手団を派遣し、陸上競技において男女ともに初めてメダルを獲得した。男性は織田幹雄が三段跳で金メダルを、女性は人見絹枝が800メートル競走で銀メダルを獲得したのである。

この大会で認められた陸上競技種目は、100メートル、800メートル、4×100メートルリレー、走り高跳、円盤投の5種目だけであった。この制限に抗議しイギリスはボイコットしていた。

II. 第9回国際オリンピック大会における女子陸上800メートル競走

1. 女子陸上800メートル競走予選¹⁾

8月1日2時半から予選が3組に分かれて行われた。予選3位までに入った選手が決勝に進出することになっていた。人見は2組目で出場し2着で予選を通じた。3組の順位は以下のとおりである。

1組目	1位	ドリINGER (Dollinger) (ドイツ)
	2位	ゲンツェル (Genzel) (スウェーデン)
	3位	ローゼンフェルト (Rosenfeld) (カナダ)
2組目	1位	ラトケ (Radke) (ドイツ)
	2位	人見 (日本)
	3位	キロゾヴナ (Kilosowna) (ポーランド)
3組目	1位	トムソン (Thomson) (カナダ)
	2位	マクドナルド (Macdonald) (アメリカ)
	3位	ヴェーヴァー (Wewer) (ドイツ)

以上3組3位までに入った9名の選手が決勝に進出した。

2. 女子陸上800メートル競走決勝

8月2日3時45分、決勝が行なわれた²⁾。1周目のはじめ人見は先頭に立つがバックストレートでゲンツェル、ラトケ、ローゼンフェルト、ドリンガーに抜かれ5位で走った。2周目に入ると、ラトケ、ゲンツェル、トムソン、人見の順でバックストレートに入る。人見はホームストレートで2位につけ、先頭のラトケを追うが追いつけず2番でゴールに入った。1位ラトケ 2:16,8 (世界記録)、2位人見 2:17,6、3位ゲンツェル 2:17,8であった。このラトケの世界記録は以後16年間破られることはなかった。ゴール後、優勝者ラトケをはじめ皆疲れ果て、ほとんどの選手がグラウンドに倒れ込んだ。この様子を受け、オリンピック委員会は翌日の会議で女子800メートルを次回から削除することを決めた。削除案の採決は、賛成12か国、反対9か国で結局今後行われなくなってしまうのである。800メートル走競技種目がオリンピックにおいて復活するのは、1960年ローマ大会の時であった。実に32年の歳月がかかったのである。

Ⅲ. リーナ・ラトケの生涯

1. 生立ちと陸上競技との出会い

リーナ・ラトケ (Lina Radke) は1903年10月18日カールスルーエ (Karlsruhe) で生まれる。父親のフェリクス バツチャウアー (Felix Batschauer) は上級マイスターの資格を持つ機械工である。妻のマグラレーネ・フィルター (Mglalene Filter) との間に5人の子供が生まれ、その一人がリーナ (正式名は Karoline) である。兄のエーミール (Emil) は陸上競技選手でバーデンの十種競技選手権保持者であった。この兄を通して、1925年、仕事の合間に陸上競技コーチとして活動していたゲオルク・ラトケ (Georg Radke) と知り合う。1年後の1926年、リーナは1000メートル走でドイツ選手権大会において優勝し、1927年8月7日、800メートル競走で世界記録 (2:23,8) を樹立する。そしてゲオルク・ラトケと結婚し、ブレスラウ (Breslau)³⁾へ移住し、夫の指導の下、オリンピックに向け練習に集中する。1928年7月1日ブリーク (Brieg) において再度800メートル競走で世界記録 (2:19,6) を出す。デウッセルドルフ大会でドイツ選手権を保持し、1928年アムステルダム・オリンピック大会への出場資格を獲得する。

2. 第9回国際オリンピック大会及びその後の活躍

既述した通り1928年アムステルダム第9回国際オリンピック大会は陸上競技において初めて女性の出場が認められた大会である。この大会でリーナ・ラトケが樹立した世界記録は16年間破られることはなかった。

1934年ロンドンでの陸上女子世界大会で、リーナは800メートル競走で第3位を獲得した。(非公式には、リーナは4位であったが優勝者コウブコヴァ (Koubkova) が出場資格を剥奪され、3位に上がった。) この後800メートル競走は行われなかった。それゆえ、もはや高レベルでの女子中距離走競技はなくなってしまい、リーナは競技活動的経歴を終えブレスラウのコーチとして働いた。彼女の競技活動期の体格は身長1 m69cm、体重55kgだった。

3. 第2次世界大戦後の活動

1945年ドイツの敗戦後、リーナは難民として追放され、ザクセンアンハルトのトルガウ (Torgau) へ辿り着いた。この逃亡生活の際に彼女は金メダルを失ってしまう。1956年DDRの国民オリンピック委員会から2度目の金メダルの授与がなされた。1961年ベルリンの壁が建設される少し前、先に西ドイツへ出国を果たしていた一人息子ノルベルト (Norbert) を追うように、夫婦は東ドイツを出国しリーナの生誕地カールスルーエへ移った。

1973年、彼女の70歳の誕生日にカールスルーエ市は、リーナのスポーツへの特別な貢献を讃え、彼女に金メダルを贈った。リーナ・ラトケは、その地で1983年2月14日にその生涯を終えた。

Ⅳ. 終わりに

リーナ・ラトケがランナーとして活動した1920年代は、女性が陸上競技を行うことに対し厳しい時代であった。アーチェリー、テニス、フェンシング、水泳、体操など美的要素の強い種目に限定されていた。女性の陸上競技がオリンピックのプログラムに初めて組み込まれたのが、1928年の大会であった。

リーナの活躍はこの1928年オリンピック大会で最高潮を迎えたが、その後も陸上競技を続けた。1961年、旧東ドイツから西ドイツへのきわめて危険で困難な逃避行を経て、生まれ故郷のカールスルーエへ辿り着き、そこで一生を終えた。彼女はナチスドイツの狂気に巻

き込まれることもなく、オリンピック金メダリストの栄光を振り回すこともなく、一市民として人生を生き抜いたのである。

補注

- 1) 第九回国際オリンピック大会 報告書 大日本体育協会編 p111
- 2) 同上 p275
- 3) ポーランド南西部の都市。1945年までドイツ領

参考文献

Baden-Baden der ultimative Stadtführer Lina Radke-Batschauer
Karoline Radke-Batschauer Lexikon ; bio-1517-Stadtarchiv Manfred Koch 2013
Lina Radke Deutsche Biographie <http://www.deutsche-biographie.de/sfz104166.html> 2016/05/20
Lina Radke "hat es den Männern gezeigt" Gustav Schwenk 2003/10/18 <https://www.leichtathletik.de/news/detail/>
Olympiasiegerin Lina Radke-Batschauer als Sowjetzon-

enflüchtling in ihre Heimatstadt Karlsruhe Stadtarchiv Karlsruhe
Lina Radke, erster offizieller Weltrekord, „Wimmern Zapter“ <https://www.sports-reference.com/olympic/athletes/ra/lina-radke-batschauer/>
Lina Radke-Pioneering <https://www.awesomestories.com/asset/view/Olympic-Athlete-Lina-Radke-Pioneering>
The Women's 800 Metres Track Event Post 1928 : Quo Vadis? Ian Jobling
第九回オリンピック競技大会 報告書 1928年アムステルダム 大日本体育協会編
オリンピック全体会 人と時代と夢の物語 武田薫 朝日新聞社 2008年

(令和4年9月9日受付)
(令和4年12月8日受理)

Lina Radke : the first gold medalist of Germany in the athletic
—the person Kinue Hitomi could not overtake

KATAOKA Ritsuko

Bulletin of Japan Women's College of Physical Education, 2023, 53, 65-68

The women's 800 meters track event at the 1928 Amsterdam Olympic Games had significance, because women could participate in the Olympic Games for the first time this year. But the 800 meters track event was banned after 1928 and returned finally at the 1960 Rome Olympic Games in Italy. Lina Radke of Germany set a world's record in this women's 800 meters run in 1928 and brought the gold medal to Germany. Kinue Hitomi could not overtake Lina Radke and finished second. In this dissertation I want to examine Lina's activities and her life.

Keywords : Amsterdam Olympic Games in 1928, the women's 800 meters track event,
Lina Radke, Kinue Hitomi